

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【子ども未来部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定不妊治療に対する助成内容の充実をされたい。また市単独での助成上乘せを実施されたい。 ・ 誕生死（死産）を経験した母親のケアを強化されたい。 ・ 児童クラブ未設置地区への早期の対応をされたい。飯岡小学校学区の児童館について複合施設の計画がありその建設は平成31年度となっているが盛南地区の児童増加が見込まれていることから、建設年度までの児童を預け入れる環境整備を図られたい。 ・ 通年を通じ待機児童の解消を図られたい 	<p>特定不妊治療につきましては、市の窓口や医療機関などを通じて制度の周知を図りながら、治療費の助成を行っているところであります。また、市単独の補助金上乘せにつきましては、平成31年度から特定不妊治療の継続者に対し、市独自の上乗せ助成を実施しているところです。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部母子健康課）</p> <p>誕生死（死産）を経験した方は、深い悲しみの中にあることから、関わり方については慎重に行う必要があることと思っておりますが、経験した方のケアは重要であると認識しており、相談があった場合には、グリーンケア等の情報提供を行う等、その方に寄り添ったケアに努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部母子健康課）</p> <p>児童センターの未設置学区につきましては、平成31年3月に策定した「児童の放課後の居場所づくりに関する方針」におきまして、見前、向中野、太田の小学区について児童センターを順次整備することとしております。</p> <p>飯岡小学校学区の児童センターについては、当初、飯岡地区農業構造改善センターとの統合化を計画しておりましたが、児童の安全性を確保するため、計画を変更し短館で建設することとし、令和2年4月の供用開始に向け、現在建設工事を実施しているところであります。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子ども青少年課）</p> <p>平成31年4月1日時点の待機児童数は「ゼロ」となりましたが、10月1日時点の待機児童数は44人となっており、今後も、産休や育休明け、あるいは転入などに伴い利用希望が増加することが予想されます。現在「待機児童対策緊急プロジェクト」により遊休物件を活用した民間の小規模保育所の新設などを進めており、今後におきましても、年間を通じた待機児童解消に向けて、重点的に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子育てあんしん課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども食堂など子どもの居場所づくりが広がっているが、実施団体のネットワーク化を図ると共に、様々な地域や年代の方が交流できるように市民への情報提供や啓発をされたい。 ・ 子ども未来基金の周知を積極的に行って頂きたい。 ・ 児童虐待に対する市民への啓発を強化して頂きたい。また、受胎時からの切れ目ない支援を実施する体制を強化して頂きたい。また、そのための人員配置は不足のないようにされたい。 	<p>子ども食堂などの子どもの居場所づくりを実施している団体のネットワーク組織として発足した「子どもの居場所ネットワークいわて」において、団体間の情報共有、研修、広報啓発などの活動が行われており、市においてもこれらの活動に積極的に参加するなど、「子どもの居場所ネットワークいわて」の活動を支援しているところです。</p> <p>今後におきましても、様々な地域や年代の方が交流できるように、子ども食堂など子どもの居場所づくりを行っている団体の活動を市のホームページで紹介するなど情報提供に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子ども青少年課）</p> <p>子ども未来基金を活用した「子ども・子育て支援事業」につきましては、各団体の活動内容について、市のホームページで随時紹介しているほか、11月には活動報告会を実施し、市民、関係団体等に周知と情報提供を行ったところです。</p> <p>また、企業等を訪問し、補助事業の説明や寄付を呼びかけたところであり、今後も、より多くの市民、団体に関心を持っていただくため、積極的な周知に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（子ども未来部子ども青少年課）</p> <p>児童虐待に対する市民への周知につきましては、毎年11月に国が実施する児童虐待防止月間に合わせて、市のホームページや、保育園、幼稚園、小中学校など関係施設へのポスター配布により、国が開設する児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」の周知に努めているほか、児童虐待の防止を広く市民に呼びかける「オレンジリボン」の活動などを行っているところであり、さらには、教育・保育関係者や民生・児童委員の研修会においても啓発活動を行っております。</p> <p>受胎時からの切れ目のない支援につきましては、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援センターを一体的に運営することにより、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めているところであります。人員配置につきましては、平成31年度より、職員を3名増員したところであり、また、県と人事交流を行うなど体制強化も図っております。</p> <p>今後におきましても、虐待対応件数や相談対応件数、継続支援ケースの推移等を見極め</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童虐待について周知啓発の際に、虐待をしている親もパートナーからDVを受けている被害者であることも想定して児童虐待の啓発活動をされたい。 ・ 子どもの居場所づくりや健全育成に関わる高大学生に対し単位認定や内申書記載などを行うよう、岩手県教育委員会や各大学に働きかけて頂きたい。 ・ ひとり親への支援をワンストップ出来る体制を作って頂きたい。 	<p>ながら、必要な体制の整備を図ってまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課，母子健康課)</p> <p>DVを想定した児童虐待の啓発につきましては、令和元年度の児童虐待防止月間において、新たに、国の「女性に対する暴力をなくす運動」と連動し、DVと児童虐待の防止の呼びかけが一体となったポスター掲出のほか、「女性に対する暴力根絶」のシンボルであるパープルリボン活動と児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボン活動の同時展開により、市民への啓発を図ったところであります。 今後におきましても、DVと児童虐待は密接に関連するものと認識しながら、国、県の動きと連動した効果的な啓発に努めてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)</p> <p>文部科学省は、学校以外の場における活動の成果を幅広く評価できるようにするため、高等学校や大学等において、ボランティア活動等に係る単位認定を認めているところであり、多くの学校が単位認定に取り組んでおります。 単位認定の制度の活用については、学校の判断によるところでありますが、子どもの居場所づくりや健全育成事業に関わることは、高校生や大学生にとって成長する機会となり、大変意義があるものと存じますことから、学校関係者と意見交換をしてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)</p> <p>ひとり親への支援につきましては、児童扶養手当の支給及び現況届受付会場での相談において、職業の安定や増収につながる教育訓練給付金の支給、子どもの進学資金等のための福祉資金の貸付など、ひとり親への支援をワンストップでできるよう努めているところであります。 ひとり親の世帯が抱える課題は、複雑・困難化の傾向にもありますことから、今後は、庁内関係課をはじめとして、関係機関や支援団体などとの連携をさらに強化しながら、支援を必要とする世帯に確実に支援の手が差し伸べられるよう、努めてまいりたいと存じます。 (子ども未来部子ども青少年課)</p>